

尾鷲旬のコツまみバル

5月14日放送

第2回目の放送は「尾鷲旬のコツまみバル」のお話。

昼12:00～夜24:00まで、食べ歩き・飲み歩きができちゃうコツまみバル。このバルを知り尽くす男、尾鷲商工会議所の中村康太さんにお話を伺いました。



年々参加者が増えているコツまみバル。

おかげで無事、2016年で第4回目を迎えることができました。

第3回目ではチケットが全部売り切れてしまうなど、回数を重ねるごとにチケットの売れ行きは増えています。

尾鷲には昔からハシゴ酒の文化があるといわれていて、1軒で終わらないというのが尾鷲人の飲みのスタイルなのかなと。

それでバルのスタイルが尾鷲人にマッチしたのかもしれないね。

また、バルの当日は干物の振る舞いや、地元のミュージシャンたちがお店に登場していきなりライブ、なんてこともあるそうです！

続いては、尾鷲旬のコツまみバル実行委員長 中野雅弘さん。



中野さんは魚処 豆狸（まめだ）の大将！

前回は、バルメニューを200食分用意したそうですがすぐに売り切れ。

追加追加を繰り返し、忙しい一日を送られました。

尾鷲は狭い路地にお店がたくさんあるので、食べ歩き・飲み歩きするのも遠くまで歩かなくて済む。

そこが尾鷲のよいところであり、バルとマッチするポイントでもあるんですね！

とにかく尾鷲が盛り上がる一日です。

尾鷲旬のコツまみバルでは、どのお店も、自慢の一杯とおもてなしの一皿を用意していますよ。